

みんなとともに笑顔いっぱい — 創立百周年 その先の未来へ みんなとともにスマイルミッション —



みんなとともに



ある日の放課後、校庭では、特設陸上部の練習をしています。またプールでは、特設水泳部の練習をしています。この時期は、通信票を作成する時期と重なり、教壇にとって多忙な時期となります。このようなときでも、「しっかり子どもに向き合った指導」をしている本校職員を誇りに思うとともに「働き方改革の時代」にあった「何かよい仕組み」はできないものかと思案する日々です。



創立百周年の年度も、1学期が終わりました

今年度は「よい習慣づくり」を身につけさせたいと考え、校長の話では、それに関連した話をしています。束縛されない「夏休み」だからこそ、自分で自分を律して、「よい習慣づくり」に取り組んでくれることを願っています。

【1学期終業式「校長の話」】

今年度は、清明小学校にとって、「創立百周年」というおめでたい年です。この記念すべき年にふさわしい、とってうれしい出来事がありました。

それは、陸上競技の福島県の代表として3名の6年生が、この夏、北海道の函館市で行われる東日本の大会に出場することになった、ということです。出場するのは、80mハードルで守谷敦君、走り幅跳びで塚田希紬君、走り高跳びで尾形望月君です。一つの学校から、しかも1つの学級から3人も出場するのは、素晴らしいことです。

でも、この3人の活躍は、一緒に陸上競技の練習に励んでいる、「多くの清明小学校の仲間がいてのこと」だと思えます。

この4月、始業式で、「よい習慣」をたくさん身につけてほしい、という話をしました。

みなさんは、月・火・木・金の放課後に、陸上競技の練習に取り組んでいます。（特設水泳部の皆さんも頑張っていますね。）また、月・水・金は、朝も練習を行っています。大会にも進んで出場しています。陸上競技に取り組む「よい習慣」が出来ています。この「よい習慣」が「学校全体」の力を盛り上げて、その中から「福島県でトップの力をもつ人」が出たのだと思えます。

実は、始業式では、「よい習慣」の話の中で、「勉強の習慣」を身につけよう、という話をしています。

みなさんは、この1学期、「勉強の習慣」は身につきましたか。

今、午後2時30分から3時30分の1時間、ふれあい広場では「いまここ学習室」という「勉強のよい習慣づくり」につながる場を設けています。

6月に2年生が始め、7月からは3年生も加わりました。2年生は始まってからひと月が経ちましたが、「宿題をしてから、音読をして、計算カードをする」という流れで、集中して勉強をしています。話をしないで自分から進んで取り組む、という姿勢が育ってきています。何よりも、この「よい習慣」を続けているということが、とても素晴らしいことです。

「いまここ学習室」には、清明小学校の1割の人、10人に1人の人が来ています。それ以外の方は、家や学童クラブで勉強に取り組んでいることでしょうか。陸上競技への取り組みと同じように、清明小学校のみなさん一人一人が、勉強に取り組む「よい習慣」を身につけることで、「学校全体」の力が盛り上がるのだろう、と考えています。

さて、夏休みです。みなさんは、どんな「よい習慣」を身につけますか。夏休みは、自分で自分を高める、とてもよいチャンスです。「よい習慣」をたくさん身につけて「充実した夏休み」になることを願っています。

では、8月22日に一回り大きくなった皆さんに会えることを期待して、終業式での話とします。

「ふくしま学力調査」の個人結果票を返却しました。（4～6年生）

4月に実施した本調査のねらいは、次のとおりです。結果分析をして今後の指導に役立てていきます。

- 1年間の学力の積み重ねを確認するために行うものです。
- 昨年に比べて、自分がどれだけ伸びたかを把握するために行うものです。（来年度から把握できます）
- アンケートの結果と学力との関係を把握するために行うものです。
- 県の平均点や他の人との比較を目的とはしていません。

※ 校長名発出の別文書もご覧ください。